

テーマレバレッジシリーズ

よくあるご質問と回答について

2021年10月15日

👉 お伝えしたいポイント

「テーマレバレッジ」シリーズについて、よくあるご質問の回答をまとめております

■ Q & A 目次

当社の「テーマレバレッジ」に関するご質問

Q1 「テーマレバレッジ」シリーズとは何ですか？ . . . 2ページ

ファンドの仕組み全般に関するご質問

Q2 レバレッジ とはどのような意味ですか？ . . . 3ページ

Q3 どのような仕組みで信託財産の純資産総額の2倍相当額に投資していますか？ . . . 3ページ

Q4 なぜ連動債券を使うのですか？ . . . 4ページ

Q5 「テーマレバレッジ」シリーズのファンドでは株式運用をどのように行っていますか？ . . . 4ページ

Q6 「テーマレバレッジ」シリーズはインデックス運用ですか？ . . . 6ページ

Q7 連動債券の連動対象である戦略値や構成銘柄はどこかで閲覧できますか？ . . . 6ページ

Q8 「テーマレバレッジ」シリーズの日々の値動きは、同じく大和アセットマネジメントが運用する「iFreeActive」シリーズの同じテーマの2倍になっていないようですが、どうしてですか？ . . . 7ページ

Q9 「テーマレバレッジ」シリーズのファンドの目論見書に「当ファンドは、特化型運用を行ないます。」と記載がありますが、これは何ですか？ . . . 8ページ

Q10 ファンドのパフォーマンスに実質的に投資している株式の配当は含まれていますか？ . . . 8ページ

基準価額・申込み・信託期間に関するご質問

Q11 日々の基準価額は、いつの市場価格を反映していますか？ . . . 9ページ

Q12 購入・売却した際の基準価額には、どの日の市場価格が反映されるのでしょうか？ . . . 9ページ

Q13 申込受付中止日に関する留意点について教えてください。 . . . 10ページ

Q14 信託期間（運用期間）はいつまでですか？ . . . 10ページ

費用に関するご質問

Q15 運用管理費用（信託報酬）は純資産総額の約2倍の金額に対して負担することになりますか？ . . . 11ページ

Q16 「テーマレバレッジ」シリーズのファンドの目論見書の「その他の留意点」の欄に『連動債券への投資においては、一般に借入金利に相当する負担があります。当ファンドでは、信託財産の純資産総額の2倍相当額の株式へ連動債券を通じて投資するため、大きな金利負担が生じる可能性があり、また長期に保有する場合、その影響が累積されます。』とありますが、どのような意味ですか？ . . . 11ページ

Q17 基準価額が下落した場合、ファンドの保有者に追加証拠金が発生しますか？ . . . 12ページ

当社の「テーマレバレッジ」に関するご質問

Q1 「テーマレバレッジ」シリーズとは何ですか？

大和アセットマネジメント（当社。以下同様。）が運用する「テーマ株投信」のシリーズです。

当社が運用する代表的なテーマ株投信シリーズには「iFreeActive」シリーズと「テーマレバレッジ」シリーズがあり、両シリーズの特徴は下記の通りです。

「iFreeActive」シリーズ https://www.daiwa-am.co.jp/ifree_series/active/index.html

世界の変革をとらえ、未来を見据えた有望テーマへの投資機会を提供するテーマファンドシリーズです。「iFreeActive」シリーズすべてのファンドは、「循環的」ではなく「構造的」な成長テーマに関連する株式に投資します。また短期的な株価予想のみを銘柄選択の拠り所とするような運用は行わず、テーマの成長をけん引する競争力の高い銘柄だけを組み入れることで、「テーマの成長」が真っ直ぐに「ファンドの成長」につながる運用をめざしています。

- iFreeActive EV
- iFreeActive ゲーム & eスポーツ
- iFreeActive チャイナX
- iFreeActive メディカルデバイス
- iFreeActive エドテック

「テーマレバレッジ」シリーズ <https://www.daiwa-am.co.jp/special/themeleverage/>

成長テーマの代表企業群へ“効率的”に投資可能なテーマファンドシリーズです。「テーマレバレッジ」シリーズでは、外部資本を効率的に活用して、実質的に信託財産の純資産総額の2倍相当額を投資します（レバレッジ投資）。テーマの成長をけん引する競争力の高い銘柄を信託財産の純資産総額の2倍相当額組み入れることで、「テーマの成長」がより大きな「ファンドの成長」につながる運用をめざしています。

- テーマレバレッジ EV2倍
- テーマレバレッジ ゲーム & eスポーツ2倍
- テーマレバレッジ 中国ニューエコノミー2倍
- テーマレバレッジ DX2倍
- テーマレバレッジ eコマース2倍
- テーマレバレッジ ヘルステック2倍
- テーマレバレッジ クリーンテック2倍
- テーマレバレッジ ブロックチェーン2倍

また上記ホームページ以外にも、ツイッター上でテーマ株投信シリーズの情報を発信しています。

【テーマ株投信】【iFreeActive/テーマレバレッジ】大和アセットマネジメント@DAM_THEME
→ https://twitter.com/DAM_THEME

※予告なしに、情報発信方法や内容等が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

ファンドの仕組み全般に関するご質問

Q2 レバレッジとはどういう意味ですか？

【レバレッジ=テコの原理】

レバレッジ投資とは「テコの原理」を意味する言葉で、テコが小さな力で大きなものを動かすことに例え、少額の資金でより大きな金額と同等の投資成果の獲得を目指す投資手法を言います。

一般的に、レバレッジを高く設定することで少ない資金を効率的に使い大きな投資成果を狙えることがメリットですが、その分値動きは大きくなります。



Q3 どのような仕組みで信託財産の純資産総額の2倍相当額に投資していますか？

「テーマレバレッジ」シリーズのファンド（以下ファンド）では、下記の仕組みの通り、連動債券への投資を通じて各テーマ関連株式に投資しています。ファンドの投資対象である連動債券の中で、レバレッジを活用した運用（実質220%程度の株式組入）を行い、ファンドは連動債券を高位（90%程度）に組み入れます。

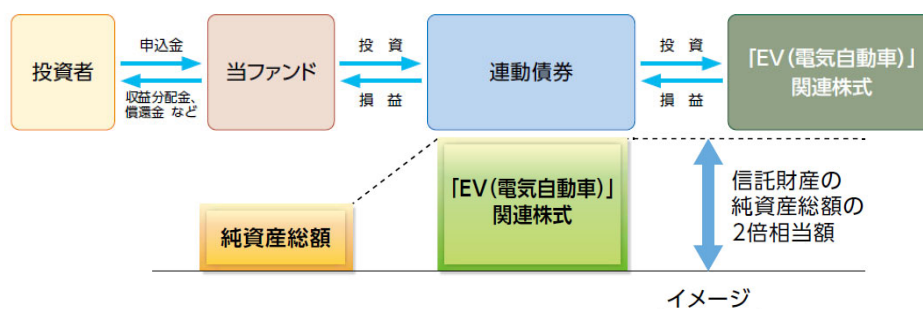
これにより、ファンドはテーマ関連株式を実質的に信託財産の純資産総額の概ね2倍相当額分投資できる仕組みになっています（ $220\% \times 90\% \div \text{概ね}2\text{倍}$ ）。

<テーマレバレッジ EV2倍の例：目論見書記載のファンドの仕組みと連動債券の概要（抜粋）>

ファンドの仕組み

- 連動債券への投資を通じて、日本を含む世界の「EV(電気自動車)」関連株式に投資します。

※連動債券について、くわしくは、「投資対象連動債券の概要」をご参照下さい。



【投資対象連動債券の概要】

発行体／表示通貨	ボルト・インベストメンツ・ピーエルシー／円建て
連 動 対 象	CS Leveraged EV Strategy
特 色	①原則として、CS Leveraged EV Strategyの値動きに100%程度連動します。 ※CS Leveraged EV Strategyは、日本を含む世界のテーマ関連株式に対する220%程度の投資効果を楽しむ戦略です。 ②クレディ・スイス・インターナショナルを相手方とした担保付スワップ取引を通じて、CS Leveraged EV Strategyに連動する投資成果を享受します。

Q4 なぜ連動債券を使うのですか？

レバレッジを活用した運用を容易に行うためです。

レバレッジを活用するためには資金の借入が必要ですが、連動債券を活用した仕組みとすることで、その借入が運用資産内で容易に実現できます。そのため「テーマレバレッジ」シリーズのすべてのファンドで、連動債券を通じた運用を行っています。

Q5 「テーマレバレッジ」シリーズのファンドでは株式運用をどのように行っていますか？

「テーマレバレッジ」シリーズでは、連動債券への投資を通じて、株式運用を行っています。

「テーマレバレッジ EV2倍」のファンドを例にしますと、「テーマレバレッジ EV2倍」が投資する連動債券は、連動対象である戦略（CS Leveraged EV Strategy）のパフォーマンスに100%程度連動します。

<CS Leveraged EV Strategy>

日本を含む世界のEV関連株式に対する220%程度の投資効果を楽しむ戦略

この戦略（CS Leveraged EV Strategy）のパフォーマンスは、Strategy Rules（戦略の計算ルール）に従ってクレディ・スイス（香港）リミテッド（CS社。以下同様。）により算出されます。

当社はCS社に対して、このStrategy Rulesに関わる日本を含む世界のEV関連株式に対する220%程度の投資効果を楽しむようなポートフォリオ情報（戦略）を提供することで、ファンドの実質的な株式運用を担っています。

そして、ファンドが連動債券を高位（90%程度）に組み入れることで、テーマ関連株式を実質的に信託財産の純資産総額の概ね2倍相当額分投資できています（ $220\% \times 90\% \approx$ 概ね2倍）。

<テーマレバレッジ EV2倍の例：目論見書記載のファンドの特色（抜粋）>

1

主として、日本を含む世界の「EV（電気自動車）」関連株式に
信託財産の純資産総額の2倍相当額を投資します。

※1 「EV（電気自動車）」を、「テーマ」といいます。

※2 株式にはDR（預託証券）を含みます。

株式への投資は、連動債券への投資を通じて行ないます。

◎連動債券が連動対象とする戦略は、以下の内容を基本とします。

*大和アセットマネジメント株式会社は、下記①～③に関する情報提供を行ないます。

- ①テーマに関連すると考えられる企業を投資対象銘柄として選定します。
- ②投資対象銘柄の中から、テーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し等を勘案して組入銘柄を選定します。
- ③テーマ銘柄としての代表性や流動性等を考慮し、各銘柄の組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。
※一銘柄あたりの組入比率が信託財産の純資産総額に対して10%を超える場合があります。
- ④実質的に信託財産の純資産総額の概ね2倍相当額の投資を行ないます。



(Q5の回答つづき)

<テーマレバレッジ EV2倍の例：目論見書記載の連動債券と戦略の概要（抜粋）>

[投資対象連動債券の概要]

発行体／表示通貨	ボルト・インベストメンツ・ピーエルシー／円建て
連 動 対 象	CS Leveraged EV Strategy
特 色	①原則として、CS Leveraged EV Strategyの値動きに100%程度連動します。 ※CS Leveraged EV Strategyは、日本を含む世界のテーマ関連株式に対する220%程度の投資効果を楽しむ戦略です。 ②クレディ・スイス・インターナショナルを相手方とした担保付スワップ取引を通じて、CS Leveraged EV Strategyに連動する投資成果を楽しむ。
報 酬 等	債券の評価額に対して年率0.19%程度 ただし、その他運営に係る各種費用がかかります。
信 用 格 付 け	信用格付けは取得しておりません。

[CS Leveraged EV Strategyについて]

戦 略 値 算 出 者	クレディ・スイス（香港）リミテッド
戦 略 構 成 情 報 提 供 者	大和アセットマネジメント株式会社
算 出 方 法	大和アセットマネジメント株式会社がクレディ・スイス（香港）リミテッドへ情報提供し、クレディ・スイス（香港）リミテッドがStrategy Rulesに従って算出します。

※上記は目論見書作成時点での情報に基づくものであり、今後、記載内容が変更となる場合があります。

Q6 「テーマレバレッジ」シリーズはインデックス運用ですか？

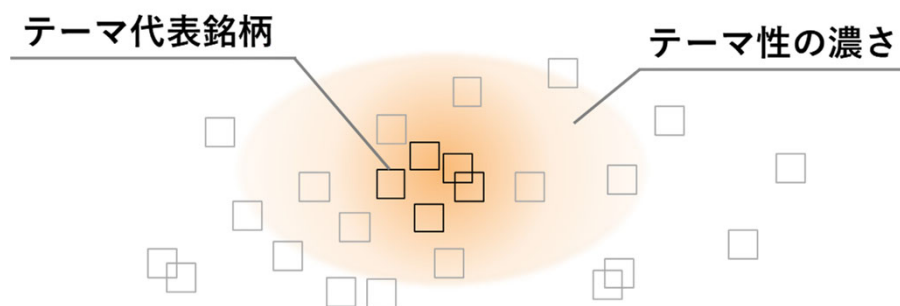
市場平均と同様のリターンを出すことを追求するインデックス運用（パッシブ運用）ではなく、テーマ関連株への投資によって中長期的な高いリターンを追求するアクティブ運用です。

「テーマレバレッジ」シリーズのファンドは、当社がCS社に情報提供する戦略に連動したパフォーマンスを享受するテーマ型ファンドです。同戦略は、当社運用チームによるテーマ株投信の投資哲学に基づいてアクティブ運用が行われています。

<投資哲学>

「循環的」ではなく「構造的」な成長が見込まれるテーマを発掘し、テーマの成長ができるだけダイレクトにファンドの成長につながるための運用を行います。その手段として、世界の株式市場の中から、テーマ関連事業の売上高規模の大きさや事業比率の高さ等を勘案して「テーマ性が濃い」優良銘柄を吟味した上で、テーマ代表銘柄への厳選投資を行います。

<当社のテーマ株投信の投資イメージ>



（出所）大和アセットマネジメントが作成

Q7 連動債券の連動対象である戦略値や構成銘柄はどこかで閲覧できますか？

戦略値の公開は行っていないですが、ファンドの基準価額は毎日算出され、当社ホームページ等で公開しています。

また、各ファンドの実質的な構成銘柄は当社ホームページに掲載の月次レポートで公開しています。

月次レポートでは、上位40～50銘柄程度の構成銘柄を掲載しています。

Q8 「テーマレバレッジ」シリーズの日々の値動きは、同じく大和アセットマネジメントが運用する「iFreeActive」シリーズの同じテーマの2倍になっていないようですが、どうしてですか？

投資する銘柄（ポートフォリオ）が異なるのが主な理由です。

「テーマレバレッジ EV2倍」と「iFreeActive EV」のように同じテーマに関連したファンドが両シリーズで運用されています。「iFreeActive」シリーズのファンドはどれも10～20銘柄への投資に限定したファンドですが、「テーマレバレッジ」シリーズでは純資産総額の2倍相当額分に投資でき、より幅広いテーマ関連銘柄に投資したいため、投資銘柄数の制限を設けていません。

そのため、実質的なポートフォリオの構成銘柄が両者で異なり、日々の値動きも2倍にはなりません。

なお、両シリーズでは同一の投資哲学に基づき、運用しています。

＜同じテーマにおける各シリーズ（ファンド）の保有銘柄数（2021年9月末時点）＞

テーマ	「iFreeActive」シリーズ	「テーマレバレッジ」シリーズ
EV	20銘柄	44銘柄
ゲーム&eスポーツ	20銘柄	42銘柄
中国ニューエコノミー	20銘柄	42銘柄

Q9 「テーマレバレッジ」シリーズのファンドの目論見書に「当ファンドは、特化型運用を行ないます。」と記載がありますが、これは何ですか？

「テーマレバレッジ」シリーズのファンドが特化型運用ファンドであることをお客様に示しています。

特化型運用ファンドとは、一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」（分散投資規制）において、投資対象に支配的な銘柄が存在する、または存在する可能性が高いファンドのことを指しています。

「テーマレバレッジ」シリーズのファンドは、テーマ代表銘柄への厳選投資を行うため、特定の銘柄へ投資が集中することがあります。各ファンドにおける支配的な銘柄とは、投資対象候補銘柄の時価総額に占めるその銘柄の時価総額の割合または運用管理等に用いる指数に占めるその銘柄の構成割合が10%を超える銘柄を指し、ファンドの純資産総額に対して10%以上の比率で保有する銘柄があるということを意味しています。

このため、発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

＜テーマレバレッジ EV2倍の例：目論見書表紙（抜粋）＞

投資信託説明書(交付目論見書)

テーマレバレッジ EV2倍

追加型投信／内外／株式

当ファンドは、特化型運用を行ないます。

Q10 ファンドのパフォーマンスに実質的に投資している株式の配当は含まれていますか？

含まれています。

「テーマレバレッジ」シリーズのファンドでは、直接株式に投資するのではなく、連動債券を通じて株式投資を行っていますが、Strategy Rules（Q5で紹介の戦略の計算ルール）に従って、直接株式に投資して配当を受け取った場合と同等の投資効果※を得ることになります。

※税制等の関係上、厳密には同等の投資効果（配当金額）を得ることができない場合があります。

基準価額・申込み・信託期間に関するご質問

Q11 日々の基準価額は、いつの市場価格を反映していますか？

基準価額の計算時において知りうる直近の日（前営業日）の投資対象市場の終値で評価します。
日本市場も同様に、基準価額計算日の前営業日の日本市場の終値を用います。

Q12 購入・売却した際の基準価額には、どの日の市場価格が反映されるのでしょうか？

購入価額・換金価額は、「申込受付日の翌々営業日」の基準価額が適用され、その基準価額は基準価額計算日の前営業日（＝申込受付日の翌営業日）の市場価格（終値）を反映しています（投資対象市場に休場がない場合）。

例えば、お客様が販売会社に対して「月曜日」の午後3時までに申込を完了した場合、翌々営業日である「水曜日」の基準価額で約定します。

その約定に使われた基準価額は、水曜日の基準価額の計算時において知りうる直近の日（前営業日）の投資対象市場の終値で評価するため、「火曜日」の投資対象市場（日本含む）の終値を用いて計算されます（＝申込受付日の翌営業日の市場価格）。

※上記例は火曜日・水曜日に投資対象市場すべてに休場がない場合を前提としています。

また上記例において「水曜日」が日本のみ祝日（休場）の際、お客様が販売会社に対して「月曜日」の午後3時までに申込を完了した場合は、翌々営業日である「木曜日」の基準価額で約定します。

その約定に使われた基準価額は、木曜日の基準価額の計算時において知りうる直近の日（前営業日）の投資対象市場の終値で評価するため、日本以外の投資対象市場では「水曜日」の終値を用いて、日本市場では「火曜日」の終値を用いて計算されます。

なお、申込締切時間の午後3時までに販売会社所定の事務手続きが完了しなかった場合、当日の申込受付とはなりません。

Q13 申込受付中止日に関する留意点について教えてください。

「テーマレバレッジ」シリーズのファンドは、連動債券への投資を通じて複数の市場へ投資することから、対象資産に直接投資するファンドと比較して設定・解約の申込受付中止日が多いという特徴があります。特に「テーマレバレッジ」シリーズのすべてのファンドは、連休が多い中国本土市場を投資対象に含めているため、中国の「春節（旧正月）」と「国慶節」などの連休の影響を受けて、受付中止日が多くなる傾向にあります。

2021年の国慶節の連休・・・2021年10月1日～2021年10月7日

2022年の春節の連休・・・2022年1月31日～2022年2月6日

また「テーマレバレッジ」シリーズのファンドは、各ファンドで投資対象市場が異なるため、申込受付中止日はファンドによって異なります。当社ホームページの各ファンドの詳細ページには、最新の具体的な設定・解約の申込受付中止日が掲載されています。

<テーマレバレッジ EV2倍の例：目論見書記載の申込受付中止日に関する留意点（抜粋）>

申込受付中止日に関する留意点

- 当ファンドは、連動債券への投資を通じて複数の市場へ投資することから、対象資産に直接投資するファンドと比較して設定・解約の申込受付中止日が多いという特徴があります。投資をお考えの際には、この点に十分留意していただくようお願いいたします。委託会社ホームページの当ファンドの詳細ページには、具体的な設定・解約の申込受付中止日が掲載されます。

Q14 信託期間（運用期間）はいつまでですか？

いずれのファンドも2026年3月27日に満期償還日を迎えますが、償還日は延長される場合があります。

「テーマレバレッジ」シリーズのファンドのように追加型で信託期間が設けられているファンドは、必ずしも短期的な運用を意図しているわけではありません。

5年もすれば今と投資環境が変化し、当初の狙い・目的が達成できなくなっている可能性、ファンドの存在意義が変わっている可能性があります。そういう可能性を念頭に信託期間を設けていますので、期限が到来したときに自動的に償還するのではなく、償還期限の前に受託会社と合意のうえ、償還の是非を決めます。その際に受益者にとって有利であると認められる場合は、信託期間を延長することもあります。

特に「テーマレバレッジ」シリーズの各テーマは、「循環的」ではなく「構造的」な成長が見込まれるテーマ群です。当社としては、5年後の未来において、これらのテーマはさらなる成長・飛躍を遂げている可能性が高いとみています。

費用に関するご質問

Q15 運用管理費用（信託報酬）は純資産総額の約2倍の金額に対して負担することになりますか？

運用管理費用（信託報酬）は純資産総額の2倍に対してご負担いたしません。

お客様が実質的に負担する運用管理費用の概算値は、純資産総額に対して年率1.4055%（税込）程度です（連動債券の報酬等を含めたものです。実際の組入状況等により変動します。）。

Q16 「テーマレバレッジ」シリーズのファンドの目論見書の「その他の留意点」の欄に『連動債券への投資においては、一般に借入金利に相当する負担があります。当ファンドでは、信託財産の純資産総額の2倍相当額の株式へ連動債券を通じて投資するため、大きな金利負担が生じる可能性があり、また長期に保有する場合、その影響が累積されます。』とありますが、どのような意味ですか？

連動債券の中で資金の借入を行っているため借入金利に相当する費用が発生し、信託財産でご負担いただくことになっています。

この借入金利については、目論見書記載の『その他の費用・手数料（監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引・スワップ取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等）』と同様に、運用状況等により変動するため事前に料率、上限額等を示すことができませんが、信託財産でご負担いただくことになります。

ただし、借入金利含めた上記費用は日々の基準価額計算に含まれているため、別途お客様に請求されることはございません。

＜テーマレバレッジ EV2倍の例：目論見書記載のその他の留意点（抜粋）＞

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 連動債券への投資においては、一般に借入金利に相当する負担があります。当ファンドでは、信託財産の純資産総額の2倍相当額の株式へ連動債券を通じて投資するため、大きな金利負担が生じる可能性があり、また長期に保有する場合、その影響が累積されます。

(Q16の回答つづき)

<テーマレバレッジ EV2倍の例：目論見書記載のファンドの費用・税金（抜粋）>

ファンドの費用・税金		
〈ファンドの費用〉		
投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) <u>3.3%(税抜3.0%)</u>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	<u>年率1.2155% (税抜1.105%)</u>	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され、毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.54%
	販売会社	年率0.54%
	受託会社	年率0.025%
投資対象とする 連動債券	年率0.19%程度	連動債券にかかる費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用の 概算値	<u>年率1.4055%(税込)程度</u> (連動債券の報酬等を含めたものです。実際の組入状況等により変動します。)	
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引・スワップ取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2) 当ファンドおよび連動債券における「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせ下さい。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

Q17 基準価額が下落した場合、ファンドの保有者に追加証拠金が発生しますか？

発生しません。

株価指数先物投資を通じたレバレッジ投資ではなく、借入を通じてのレバレッジ投資であるため、証拠金は発生していません。

一方で、借入金利を負担することになりますが、ファンドの運用管理費用（信託報酬）やその他の費用・手数料同様に日々の基準価額計算に含まれているため、別途お客様に請求されることはございません。

投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的にご負担いただく費用	購入時手数料	0～3.3% (税込)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 最大33,000円 をご負担いただきます。
	信託財産留保額	0～0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 最大5,000円 をご負担いただきます。
信託財産で間接的にご負担いただく費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0～1.98% (税込)	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 最大1日あたり約55円 をご負担いただきます。
	その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)		

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は大和アセットマネジメントが運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。ファンド・オブ・ファンズでは、ファンドが投資対象とする投資信託の運用管理費用等を別途ご負担いただきます。また投資信託によっては、運用実績に応じた報酬や換金手数料をご負担いただく場合があります。

※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社

加入協会

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。